



# 長門の話題 Topics

## 県内の12店舗の販売協力店で鶏鍋の試食

より多くの県民・市民に県産鶏肉のおいしさを知ってもらおうと、1月24日(土)、市内のスーパーマーケットで試食販売が行われました。PRに先立ち、村岡県知事は「県外や国外に向けて県産品の需要拡大のため取り組んでいるところです。地域の活性化のためにも、この取



▲鶏鍋を手渡す村岡県知事

組みを進めていきたい」とあいさつしました。

試食が始まると、村岡県知事や大西市長らが100食分用意された長州黒かしわを使った鶏鍋を訪れた人に手渡ししました。

温かい鶏鍋を受け取った買い物客は、「おいしい、おいしい」と頬張っていました。



▲長州黒かしわの鶏鍋を食べて地産地消をPR

## ちびなが商店街をつくろう10 憧れの職業を一足先に体験

2月1日(日)、ルネッサながとアリーナで「ちびなが商店街をつくろう10」が開催され、約1万人が来場しました。

会場には文房具店、駄菓子屋、飲食店など42店舗が軒を連ねる1日だけの仮想商店街が登場しました。子どもたちはやってみたい仕事を探し、就職先で高校生ジュニアオー

ナーによる指導のもと製造や販売などを体験し、会場内で使える仮装通貨「ちび」を使って買い物を楽しみました。

この日、最も良いおもてなしをしたジュニアオーナーに贈られる「ベストオーナー賞」には、大津緑洋高校大津校舎1年の柳井美咲さんと清水成実さんが選ばれました。



▲ベストオーナー賞に輝いた柳井さん(左)と清水さん(右)

## アワビ放流種苗出荷式 漁業者の所得向上を目指す

1月30日(金)、山口県漁業協同組合黄波戸支店で「アワビ放流種苗出荷式」が行われました。

出荷式には、海士組合でアワビ種苗の放流事業などの栽培漁業を行っている市内の山口県漁業協同組合8支店の組合員が集まりました。

式では、大西市長が「すばらしい育成術で育った種苗をお渡しできる。来年再来年と続けていき、漁家の所得向上につなげたい」とあいさつをしました。体長30ミリを超えたアワビの種苗は、大西市長から約40,000個が配布されました。



▲種苗を手渡す大西市長(右)

## 保育園・幼稚園にクジラの竜田揚げを提供 クジラをおいしく味わう

2月6日(金)、長門大津くじら食文化を継承する会が、市内の保育園・幼稚園にクジラの肉1,100食分を提供しました。鯨の食文化を伝えようと同会が行っているものです。三隅保育園では、園児がクジラの竜田揚げをおいしく味わっていました。



## 三隅での生活を偲ぶ

県内外の交流人口の増加を目的に、楳取素彦夫妻にスポットをあてた企画展が1月30日(金)、村田清風記念館でスタートしました。

楳取素彦は、幕末に長州藩主毛利敬親に側近として仕え、初代群馬県令を務めました。

その楳取は、敬親公が亡く

なつてから群馬県令に就くまでの数年間、長門市三隅二条窪で妻と隠棲しました。

なお、「その夫妻の足跡をたどり、この地域に残したものは何か」をテーマに開催されているこの企画展は、平成28年1月11日(月)まで、年中無休で行われる予定となっています。

その楳取は、敬親公が亡く



▲落ち着いた雰囲気の中、夫妻の足跡をたどる

## 楳取素彦夫妻旧宅跡地を整備 幕末に思いをはせて

1月16日(金)、三隅二条窪にある楳取素彦夫妻旧宅跡地の整備が完了しました。

市では、明治3、4年頃楳取夫妻が隠棲生活を送った「桜楓山荘」の跡地を整備しました。敷地の造成を行ったほか、説明看板やフェンスなどが設置されました。

